

学校探訪レポート

～先生はみんなのパーソナルトレーナー！一人一人に寄り添う授業の工夫を見つけました～

校長 古閑 龍太郎

子どもたち一人一人の個性に寄り添い、その可能性を最大限に引き出す「パーソナルトレーナー」としての先生方の姿を追う本レポート。今回は、3年4組で行われた山中延宏先生の社会科の授業（単元名：「第二次世界大戦のはじまり？」）を参観しました。「第2次世界大戦はどのようにして始まったのだろうか」という深い問いに対し、一人一台学習者用端末を活用したジグソー学習を取り入れ、思考力を育成することをめざした素晴らしい授業の様子をお届けします！

◆ ジグソー学習と端末活用が生む、多面的・多角的な「深い学び」

山中先生の授業が素晴らしいのは、単純な知識の伝達に終始するのではなく、生徒たちの思考力を育成することをめざして授業が緻密に構成されている点です。授業では、一人一台学習者用端末を活用したジグソー学習が効果的に取り入れられ、子どもたちの主体的な深い学びが見られました。歴史の事象を単に覚えるだけでなく、提示された多様な資料を基に「歴史を大観すること」や「多面的・多角的に歴史を俯瞰すること」を徹底し、事象の本質を捉えられるような工夫が随所に凝らされています。生徒たちが自ら問い、考えを深めていくプロセスが見事にデザインされていました。

◆ 丁寧な机間指導と、一人一人に寄り添う細やかなサポート

また、活動中における山中先生のきめ細やかなアプローチも大変印象的でした。先生はグループ活動中も教室全体をくまなく回り、非常に丁寧な机間指導を行われていました。つまりいている生徒や悩んでいる生徒に対してそっと横から個別の支援を丁寧に行いながら、同時にクラス全体の活動状況や学びの進捗をリアルタイムで確実に把握されています。ICTという最先端のツールをスマートに活用しながらも、一人一人の思考にどこまでも泥臭く寄り添う温かい伴走姿勢は、まさに子どもたちの心に寄り添う「パーソナルトレーナー」そのものでした。

◆ おわりに

「歴史事象を単に覚えるだけでなく、事象の本質をとらえられるよう指導していきたい」という山中先生の熱い思いが、テクノロジーとジグソー学習の融合を通じて、子どもたちの「問い、考え、協働する」確かな育ちへと見事に昇華された素晴らしい授業でした。一人一人の声を大切にしながら、豊かな思考力を育む温かい日々の授業づくりに、心から感謝いたします。いつも本当にありがとうございます！